

支え合うきよせ委員会（清瀬市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体）

第2回 A 部会高齢者110番検討チーム 次第

日時	平成 30 年 10 月 23 日（水）14 時 30 分～16 時	場所	中清戸市民センター
出席者	委員：田中委員、田島委員、名古屋委員 事務局：鈴木（直）、上垣係長 生活支援 CO：鈴木（智）、森、原田、鍵和田		
欠席者			

1 前回の振り返り

次第を活用し、鈴木 CO より報告あり。高齢者110番の機能は3つに分類でき、A 部会では「相談窓口機能」について検討していくことを前回の検討チームにて確認する。

2 相談窓口機能について

鈴木 CO と上垣係長により、5W2H に従って機能の整理を実施。論点を確認しながら意見交換を行う。

- ・地域内での相談窓口機能として、自宅前などにステッカーを掲示し、高齢者の相談窓口（地域包括支援センター）や地域の社会資源を紹介する役割を想定。
- ・新しい仕組みを作ることは困難が予想されることから、ふれあい協力員が地域で相談窓口機能を担い、ステッカー配布することを検討。しかし、「相談」の内容が多岐に渡り、担い手負担が予測されることから相談窓口機能についても再整理が必要との合意に至る。
- ・ふれあい協力員の活動をしている立場としても、家にステッカーを貼ることはためらいがある。
- ・地域包括支援センターが高齢者110番と名乗ることについても、実際にどのような相談が寄せられるかが想定できないため、簡単には進められない。

<まとめ>

- ・「向こう三軒両隣」の関係が薄れる中で、地域の中でハブになる人（情報のつなぎ役、相談機関の紹介役）の存在が重要と検討チームで確認。
- ・認知症サポーターに対して、オレンジリングをキャンペーン的に呼びかけ、支え合いの熱を高めることもできるのではないかと。
- ・地域の中のハブになる人を養成する勉強会の企画なども今後は考えられる。

3 今後について

本日の話し合いを一度整理し、再度検討チームで共有する場を設ける。

その場において今後の取り組みについて再整理する。

4 今後の予定

(1) 次回検討チーム開催日程

- ・ 11月6日（火）13時30分～15時00分

(2) 本会・部会

- ・ 11月20日（火）13時30分～14時30分